I·O DATA

CRWD-ABシリーズ CD-RW/DVD セットアップガイド

112629-04

本製品をセットアップし、音楽CDを作り、DVDビデオを再生するまでの作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。

本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付CD-ROM内のオンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルのインストール／起動方法

①添付CD-ROMをドライブに挿入します。

●パソコンにインストールしてから起動する場合

②[インストールをする]➡[オンラインマニュアル]をクリックしてパソコンにインストールします。
③以下の順に起動します。[スタート]➡[プログラム]➡[I-O DATA]➡[CDRW&DVD Tools Collection for ××××××(×××××は製品名が表示されます。)]➡[オンラインマニュアル]

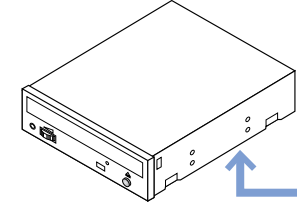
●CD-ROMから直接起動する場合

②[オンラインマニュアルを読む]ボタンをクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認する

☐ CD-RWドライブ(1台)

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の底面に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。
※Aは英字、0は数字、aaは英数字(下線付き)となります。

●シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。http://www.iodata.jp/lib/

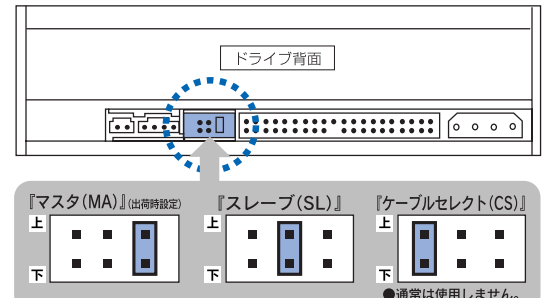
☐ CDRW＋DVDツールズコレクション
☐ 取り付けネジ(4本)
☐ I-O DATA・ロゴシール(1枚)［ドライブの前面にお貼りください。］
☐ はじめにお読みください(1枚)
☑ CD-RW/DVDセットアップガイド(本書)
☐ ハードウェア保証書(1枚)

2 スイッチを設定する

●本製品を取り付ける前にドライブ背面のスイッチを設定する必要があります。

右記 IDEの基礎知識 をご覧になり、本製品背面のスイッチを『マスタ』(出荷時設定)または『スレーブ』のどちらかに設定します。

●マスタ、スレーブについて

●通常は使用しません。

注意 PC98-NXシリーズをご使用の場合のご注意

セカンダリスレーブに接続するとパソコンが正常に起動しない場合がありますので、本製品をプライマリスレーブまたはセカンダリマスタで使用してください。

IDEの基礎知識

本製品を取り付ける場所を決めてから、左記の通り設定してください。

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。

"パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで"

■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。

『プライマリ』(PRIMARY) ➡ IDE1の場合があります。
『セカンダリ』(SECONDARY) ➡ IDE2の場合があります。

■『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル(次ページ参照)を使用して、以下の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

『マスタ』(MASTER) ／『スレーブ』(SLAVE)

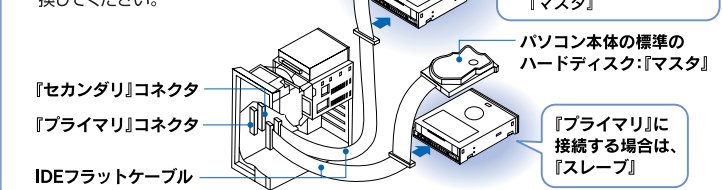
●接続例

一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。

『セカンダリ』に…
●2台接続する場合
どちらかを『マスタ』
もう一方を『スレーブ』
●本製品のみ接続する場合
『マスタ』

パソコン本体の標準のハードディスク:『マスタ』

『セカンダリ』コネクタ
『プライマリ』コネクタ
IDEフラットケーブル

『プライマリ』に接続する場合は、『スレーブ』

3 取り付ける

❶パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

❷パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

❸各ケーブルを接続します。

❶IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリ(1系列目)またはセカンダリ(2系列目)を充分確認し、接続してください。

❷電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

注意 ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

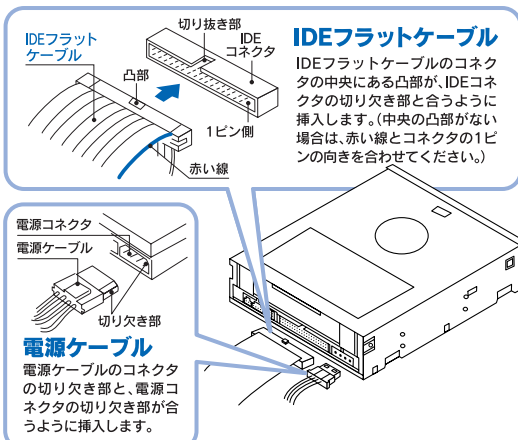
IDEフラットケーブル
切り抜き部
IDEコネクタ
凸部
1ピン側
赤い線

IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。(中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。)

電源コネクタ
電源ケーブル
切り欠き部

電源ケーブル
電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。

❹添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺機器を元に戻します。

4 確認する

●本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品を使用することができます。

追加されたアイコン　▼Windows XPの場合　▼Windows XP以外の場合

こんな時には…

パソコンが起動しない場合
本製品の「マスタ」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合
●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)

5 B's Recorder GOLD5 BASIC + B's CLiP5をインストールする

※本製品に添付の「B's Recorder GOLD5」は、「B's Recorder GOLD5 BASIC」ですが、これ以降は「B's Recorder GOLD5」と記述します。
※Windows XP/2000で使用する場合には、管理者権限でログオンしてください。

❶他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

❷「CDRW+DVDツールズコレクション」CD-ROMをセットします。

❸自動でメニューが表示されます。自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Autorun]([Autorun.exe])を起動してください。

❹あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。
※インストール中、下記のシリアルナンバーが自動的に入力されます。

●GOLD5 BASIC：
●CLiP5　　：

注意 B's Recorder GOLD5 + B's CLiP5を使用する際のご注意

使用方法の詳細については各オンラインマニュアルをご覧ください。オンラインマニュアルは各ソフトウェアをインストール後、[スタート]メニューの[B.H.A]内に登録されます。

●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

●マルチセッション(MULTISESSION:セッション単位でデータを追記することです。)記録したCD-R/RWメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD5」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される"使用領域"では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。

●一度でも書き込みに失敗したCD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したCD-RWメディアは「B's Recorder GOLD5」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。

●いったん、「B's Recorder GOLD5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD5」と本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP5」と本製品を使用してください。
(一度、B's CLiP5で使用したCD-RWメディアをB's Recorder GOLD5で書き込む場合は、標準消去で完全に消去してください。)

●本製品からオーディオキャプチャを行う際にノイズが発生する場合は、読み込み速度を落としてください。

●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、CDメディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

●「Seamless Link」「JustLink」「BURN-Proof」などのエラー回避機能のチェックを外さないでください。
(ドライブによって機能の名称が異なります。)

《B's Recorder GOLD5の場合》
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」※で、"転送速度エラー回避機能"をONにしてください。
※あらかじめ「エラー回避機能」がONになっている場合は表示されません。

●CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
B's Recorder GOLD5が対応していないCD-ROM※の場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。

●本製品添付以外のライティングソフトは、アンインストールしておいてください。(誤作動を防ぐため)

裏へ続く ➡

6 音楽CDを作る

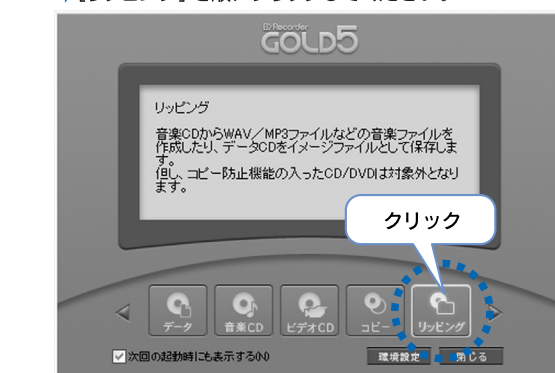
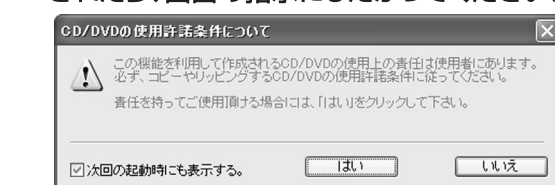
STEP 1 WAVEファイルを作る

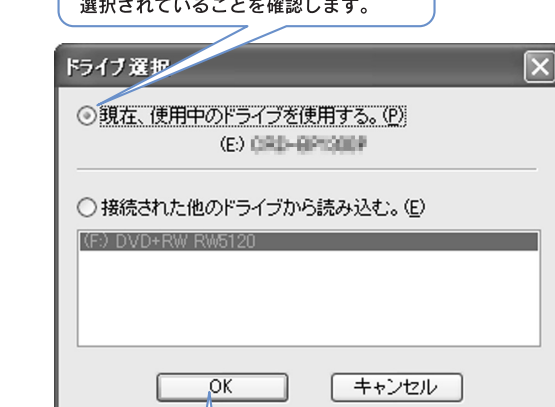
オリジナル音楽CDを作るには、まず、CD-Rに書き込む音楽データ(WAVE)を作ります。B's Recorder GOLD5には、音楽CDのデータをWAVEファイルに変換する機能がついています。ここでは、音楽CDからWAVEファイルを作成します。

※以下に記載する作成方法は例です。B's Recorder GOLD5の詳細な使用方法はオンラインマニュアルをご覧ください。

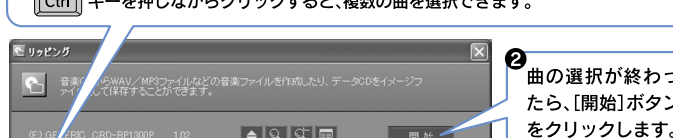
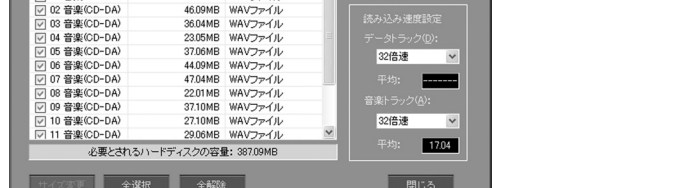
❶本製品に音楽CDをセットします。

❷B's Recorder GOLD5を起動します。
アイコン をダブルクリックします。
または、[スタート]➡[プログラム(すべてのプログラム)]➡[B.H.A]➡[B's Recorder GOLD5]➡[B's Recorder GOLD5]の順にクリックします。

❸[リッピング]ボタンをクリックします。
この画面が表示されない場合は、メニューから[メディア]➡[リッピング]を順にクリックしてください。

❹「CDの使用許諾条件について」画面が表示されたら、画面の指示にしたがってください。

❺「ドライブ選択」画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

❶「現在、使用中のドライブを使用する。」が選択されていることを確認します。

❷[OK]ボタンをクリックします。

❻「リッピング」画面でWAVEファイルに変換する曲を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

❶WAVEファイルに変換する曲にチェックをつけます。
Shift キーを押しながらクリックすると、連続している複数の曲が選択できます。
Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数の曲を選択できます。

❷曲の選択が終わったら、[開始]ボタンをクリックします。

❼変換するWAVEファイルの名前を入力します。

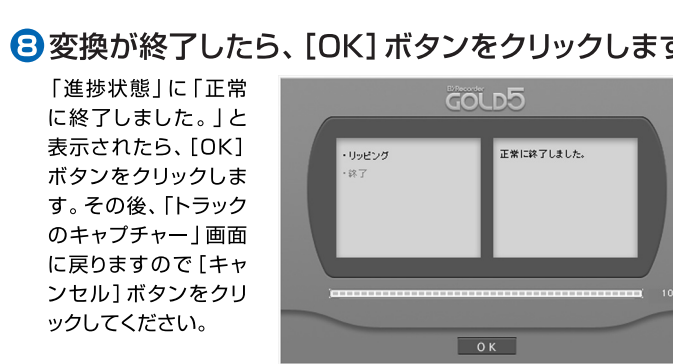
❶保存する場所を指定します。
❷名前を入力します。
❸[保存]ボタンをクリックします。

画面の場合は、[My Music]フォルダに保存されます。

複数曲選択した場合は、ファイル名の後に001から順に番号が付きます。

WAVEファイルへの変換が始まります。

❽変換が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。その後、「トラックのキャプチャー」画面に戻りますので[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

これでWAVEファイルができました。WAVEファイルを保存した場所をおぼえておいてください。

STEP 2 書き込む

STEP1で作成したWAVEファイルを使用して、オリジナル音楽CDを作りましょう。

❶本製品に未使用のCD-Rをセットします。
補助画面が表示されている場合は、閉じます。

❷書き込むWAVEファイルを登録します。

ドラッグ
ドロップ

STEP1で作成したWAVEファイルを画面上にドラッグ＆ドロップします。

ドラッグ&ドロップとは?
マウス左ボタンを押したまま移動させ、離すことです。

WAVEファイルが登録されます。
WAVEファイルを登録すると、登録した合計時間が表示されますので、書き込み先のCD-Rの容量を越えないようにしてください。

❸「ディスクアットワンス」にチェックをつけます。

❹いよいよ、書き込みます。
ボタンをクリックすると、[書き込み設定]画面が表示されます。「書き込みの種類」と「書き込み速度」を設定して、[開始]ボタンをクリックしてください。

※1 Super-Link機能を有効にしている場合は、"テストのみ"、"テスト後の書き込み"に設定しないでください。
※2 CD-RWの最大書き込み速度の約半分の速度を推奨します。

❺書き込みが終了したら、[OK]ボタンをクリックします。
「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

これでオリジナル音楽CDが完成しました。

7 DVDビデオを再生する

●DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD」などのDVDデコーダが必要です。

注意 PowerDVDを使用する際のご注意
●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で"2"に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
●本製品添付のPowerDVDはドルビーヘッドホンに対応しておりません。

●PowerDVDをインストールする

■Windows XP/2000で使用する場合には、管理者権限でログオンしてください。

❶使用中のアプリケーションやウィルス対策などの常駐プログラムがある場合は終了してください。

❷添付のCD-ROMをセットすると、自動でメニューが表示されますので、「インストールをする」➡「PowerDVD XP」をクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Autorun]([Autorun.exe])を起動してください。

❸あとは画面の指示にしたがってください。

個人使用の場合は、「Personal」など、任意に入力してください。

インストールが終了すると、「システム診断プログラムを今実行しますか?」と表示されますので実行してください。※インストール中、下記のシリアルナンバーが自動的に入力されます。

CD-key：

注意 右記のメッセージが表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。

●DVDビデオを見る

本製品にお手持ちのDVDビデオを挿入すると、自動的に再生されます。

これで再生できない場合は、次の方法で再生しましょう。

❶[スタート]➡[プログラム(すべてのプログラム)]➡[CyberLink PowerDVD]➡[PowerDVD]をクリックします。

❷ をクリックして表示されたメニューから、本製品のドライブ番号をクリックすれば再生できます。

ドライブ番号はお使いの環境により異なります。

●操作パネルの説明

■操作パネル各ボタンの役割です。

注意 詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。